

# 「東日本大震災後の長期避難を経験した子どもの肥満の要因検討」に関する 研究のお知らせ

帝京大学大学院公衆衛生学研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 29 年 8 月 18 日 ～ 平成 32 年 3 月 31 日

〔研究課題〕 東日本大震災後の長期避難を経験した子どもの肥満の要因検討

ー福島県富岡町の1歳6か月児健診と3歳児健診データを用いてー

〔研究目的〕 福島県富岡町の、1歳6か月児健診と3歳児健診における観察項目と問診票から、生活習慣と社会的要因に着目し、子どもの肥満の要因の検討を行い、分析し、より一層の健康増進対策に役立てます。

〔研究意義〕 東日本大震災後、成人肥満の割合が福島県の避難区域住民、特に避難者において増加していることが明らかになっています。また同時に、被災地の子どもの肥満も増えていることが明らかになっています。本研究では、富岡町での既存の乳幼児健診における観察項目と問診表から、子どもの肥満の要因検討を行い、さらに子どもの肥満発生状況を震災前後で比較します。本研究は、富岡町の健康づくりの活動の一環として行うものですが、富岡町の子どものみならず、同様の被災地の子どもの肥満予防につながることを目指しております。

〔対象・研究方法〕 福島県富岡町における、平成17年から27年までの「母と子の健康記録」1歳6か月児健康診査票と3歳児健康診査票の各年約100人、合計約1100人のデータを用い、肥満の子どもの割合や、生活習慣や社会的要因と肥満の関連、などを検証します。

〔研究機関名〕 帝京大学大学院公衆衛生学研究科、福島県富岡町役場、福島県富岡町保健センター

〔個人情報の取り扱い〕 データは数値化され、解析や結果の要約を行い、学会発表や論文投稿に用いられます。そのため、研究機関において個人を特定することは不可能です。また研究成果を公開する際には統計処理を行った個人が特定されない形式での集計結果のみを発表します。

〔その他〕 (健康保険・謝金等について、必要に応じて記載する。)

対象となる住民の方で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学大学院公衆衛生学研究科 准教授 井上まり子

研究分担者：帝京大学大学院公衆衛生学研究科 大学院生 伊東尚美

住所：〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表) [内線 45512]